



市民の皆さんの声を聞きたい。私の話を聞いてほしい。暮らしの中での悩みごとをはじめ、地域に対する想いや願い、「元気で、あんな、誇りの持てるふるさと飛騨市」を創るために市政に求めることなど、様々な声を聴かせていただくため、3月22日から4月29日にかけて、市内17会場で「市民と市長の意見交換会」を開きました。意見交換会では、都竹市長が市政運営や重点的に取り組む施策について説明し、延べ1200人以上の参加者の皆さんから約300件の貴重な意見などをお聴きしましたので、その一部を紹介します。(意見などは要約しています。)

市長の話



「元気で、あんな、誇りの持てるふるさと飛騨市」が私の目指す飛騨市です。

「元気」は、人口減少の時代の中でどうやって活力を維持するかというテーマ。地域外から所得を稼ぎ、人を呼び込む対策に重点を置いた施策を行う。「あんな」は、不安のない暮らしづくりをしようというもの。どんな時代でも地方自治体が揺らぐことが無くしっかり取り組むべきことという考え方で、弱い立場の方々への支援を丁寧に行っていきたい。「誇り」は、市民の皆さんが自分のふるさとはいいところだと自信を持って言っていたただけるようにしようというもの、私自身も強い思いがあり、宝探し、我慢づくりを進めていきたい。そして、全体に通ずる子ども、若者、高齢者、女性が思う存分活躍できるように人づくりを取り組んでいきます。

財政調整基金について

財政調整基金が80億円くらいあると聞いている。176億円程度ある一般会計予算の4割程度になっている。富山市は2割近くらしい。毎年10億円程度積み立てるのであれば、その基金を市民生活を良くするために使ってもらいたい。

答

一般会計に占める財政調整基金の割合は2割くらいの自治体が多いが、飛騨市の場合は5割近くになっており、高山市も同程度である。基金のあり方は各自治体の考え方による。他方で飛騨市は、自主財源が収入の3割くらいで、多くを国の地方交付税に頼っており、ひとたび地方交付税が絞られると途端に苦境に陥る。このため、ある程度の貯金が必要と考えている。ひとつの用途は、収入の5割程度と考えており、その水準の基金を維持しつつ、少しずつ投資や事業にも予算を振り向けていきたい。

外国人観光客の受け入れ

国際的な流れが変わってきている中で、近頃、JRの普通列車にしても外国人観光客が増えてきたと感じている。外

外国人観光客の受け入れに対してどう考えているか。

答

外国人誘客は国のタイプや好みに応じて受入れを考えていくことが大切で、泊まり方、楽しみ方などをパッケージにしてPRしたい。

中でも飛騨市は台湾との長年の交流があり、実際外国人観光客の半分以上が台湾からの観光客となっている。この強みを伸ばしていきたい。



スーパーカミオカンデ

小柴先生や梶田先生のノーベル賞受賞で盛り上がったが、神岡に来てもどこにあるのかわからない。宙ドームに展示はあるが、体験もできないしあまりにも寂しい。体験

型の何かができないか。せっかくの世界的な施設があるのに活かしきれっていない。

答

カミオカンデなど毎年2000人以上の見学者があるが(7割がイベント(GSA)、3割が研究者)、通常は中には入れない研究施設。研究所の先生方からも、これ以上の見学を受け入れは研究に差し障るという声がある。

このため、神岡の街の中にわかりやすく研究内容を説明できる場所を作りたいと考えている。なるべく早期に実現したい。



レールマウンテンバイク

レールマウンテンバイクの延長について、どんな考え方をしているか。



答

旧神岡鉄道の鉄道軌道敷は市の財産で大いに使ってもらいたい。一方で安全対策がとても大切。現在、安全対策の調査報告を検討して具体的な対策の見極めをやるうとしている。お金をどのくらいかけられるかが問題だが、レールマウンテンバイクは飛騨市の魅力であり推進したい。

みやがわ考古民俗館

みやがわ考古民俗館は、石棒をはじめユニークな民俗資料が展示されているが、徐々に開館が制限され、現在は事前予約制となつてしまつた。倉庫のようになつてしまつた。何とか活用できるようにして頂きたい。



答

宮川町の石の文化は素晴らしい。もっと脚光を浴びてもよいと思う。施設だけの展示ではなく、他の場所で移動展をするなどの工夫をすることで知名度を上げることも必要ではないかと考えている。



答

和紙の後継者育成補助金のような制度は継続したい。地歌舞伎も何らかの支援ができればと思うている。



河合町の伝統産業・芸能

伝統産業(河ぶぐ・野草茶)、芸能(和紙・地歌舞伎・小雀獅子)、後世に伝えるべきすぐれたものだが後継者不足の問題がある。

市長との意見交換会

若者の中には自分で動いて頑張っている者もいる。独自に大変おもしろいことをやっている者がたくさんいる。市長に我々の活動をもっと知ってもらえると励みになる。「若者と市長の意見交換会」も開催してほしい。

答

大変おもしろいと思う。私自身はどこにでも出かけていので気軽に呼んでほしい。市長は無料である。皆さんのお役に立っているのであれば大いに使ってもらいたい。若い人との意見交換の機会もぜひ設けたい。



高校の統廃合について

市には、現在飛騨神岡高校と吉城高校の2校があるが、いずれ統廃合という話も出てくるだろう。特色のある学校づくりを進めていくなど、なんとか存続を図ってほしい。



答

大変、重大な問題と認識している。地元の高校は死守したい。市には統廃合の決定権はないが、指定された高校について地元で協議会を作って議論するという流れになっている。

ただ反対、要望するだけではなく、色々な特色ある取り組みをして実績を積み上げ、そのうえで重要性を訴えていくことが必要。市民の皆さんにもご協力ご支援をお願いしたい。

勤めたい女性の応援を

小さい子がいる母親は、子どもの病気等で会社勤めを早めに切り上げなければならぬ時が多い。二人一組のシフト、定年の人から多様な勤務体系について働きかけをできないか。育児保育についても検討していただきたい。



答

子育て中の女性が勤めるにはさまざまなニーズや問題があり、もっと当事者の皆さんのご意見を聞きたい。勤務体系のあり方については、モデル企業での実践などもお願いしていきたい。

若者の定住と企業誘致

富山県は、北陸新幹線の開業により、企業誘致が進みそうである。飛騨市でも魅力のある地域を作っていくためには、企業誘致が必要である。まちづくりのために投資を考えてもらいたい。

答

就労者人口が不足しているという問題があり大企業の誘致は難しいが、30〜50人の小規模企業は比較的誘致に適していると考えている。企業誘致は、進出を希望している企業を素早く見つけ、交渉を進められるよう日ごろから情報網を張り巡らせておくことが必要。積極的に取り組んでいきたい。



雇用問題について

市の一番大きな問題は人口減少である。これは雇用条件が悪いことも要因である。若い人が定着するような取り組みを。



答

賃金などの雇用条件を改善していくには、中小・小規模企業でも利益を上げてもらうことが大事。そのために、新商品開発や新たな販路開拓などが重要であると考えており、市としても支援していきたい。





医師不足について

市民病院の医師不足は深刻。これは全国的な問題だと聞いているが、なんとかこれからの医師の確保をお願いしたい。

答

昔は大学の医局が医師を抱えており、派遣する仕組みだったが、医師の研修制度が変わり、自分の望む病院で研修できることになった。これをきっかけに、若い医師は都市や大病院に出てしまい、医局が弱くなり、医師を出す力が衰えた。これが医師不足を招いている。

その中で医師確保であるが、富山大学をはじめとして、関係方面と連携を密にし、飛騨市民病院の重要性を訴え、お願いし続けることが重要。研修医の確保なども全

力で取り組む。市民の皆さんにも声を上げ続けてもらいたい。



安心で豊かな老後

安心で豊かな老後のために、また転出していた人にも、帰ってきてもらうためにも、古川に市民病院の分院を造ってほしい。また、要介護者が多いので、特養を増やし、元気な高齢者を雇用してはどうか。

答

分院の設置は、医師の確保が困難な中では極めて難しい。むしろ、高山を含めた中で、在宅医療も含めた医療体制をしっかり守っていくことが重要。また、介護従事者の確保はとても重要な課題。元気な高齢者の参加は重視したいと考えており、身体的負担を下げるための介護ロボット

トの導入にも取り組んでいきたい。

市のスポーツ振興について

人は元気でなくなった際にスポーツの大事さに気づくと思う。スポーツ振興計画が改訂されると聞いたが、競技スポーツへの取り組みが飛騨市は弱いのではないかと感じている。

答

競技スポーツは大事だと思う。一方で、人口が少ない飛騨市の場合は、ある程度重点的な種目を絞る必要がある。ジュニアの分野で、参加者・指導者をどう確保できるかという問題もある。スポーツ振興全体の議論の中で考えていきたい。



公共交通機関について

割石温泉へ行くのに巡回バスがあったときは片道100円（往復200円）でいけたが、乗り継ぎが発生するようになり、料金が高くなっている。濃飛バスとふれあいタクシー（ひだまる）の乗継券があるといい。

答

神岡町内を中心にバスの利便性が落ちたことを訴える声が大きいです。ダイヤや路線の見直しが必要だと考えています。その際に、重視すべきは特に病院と温泉へ行く路線のあり方。実際の利用者に直接意見を聞きながら見直しを行っていききたい。



道路の除雪について

冬季間の道路の除雪について、生活圏の確保や防災の観点なども考え、必要な場所の除雪をお願いしたい。また、道路の白線が除雪によって削られ年々薄れているため、危険防止のためにも、春先など早期に白線の修繕工事をお願いしたい。

答

道路の除雪については各会場でも多数の意見が出ている。除雪方針の再整理が必要だと考えており除雪のあり方について見直しを行っていききたい。また、白線修繕の早期実施についても検討したい。

